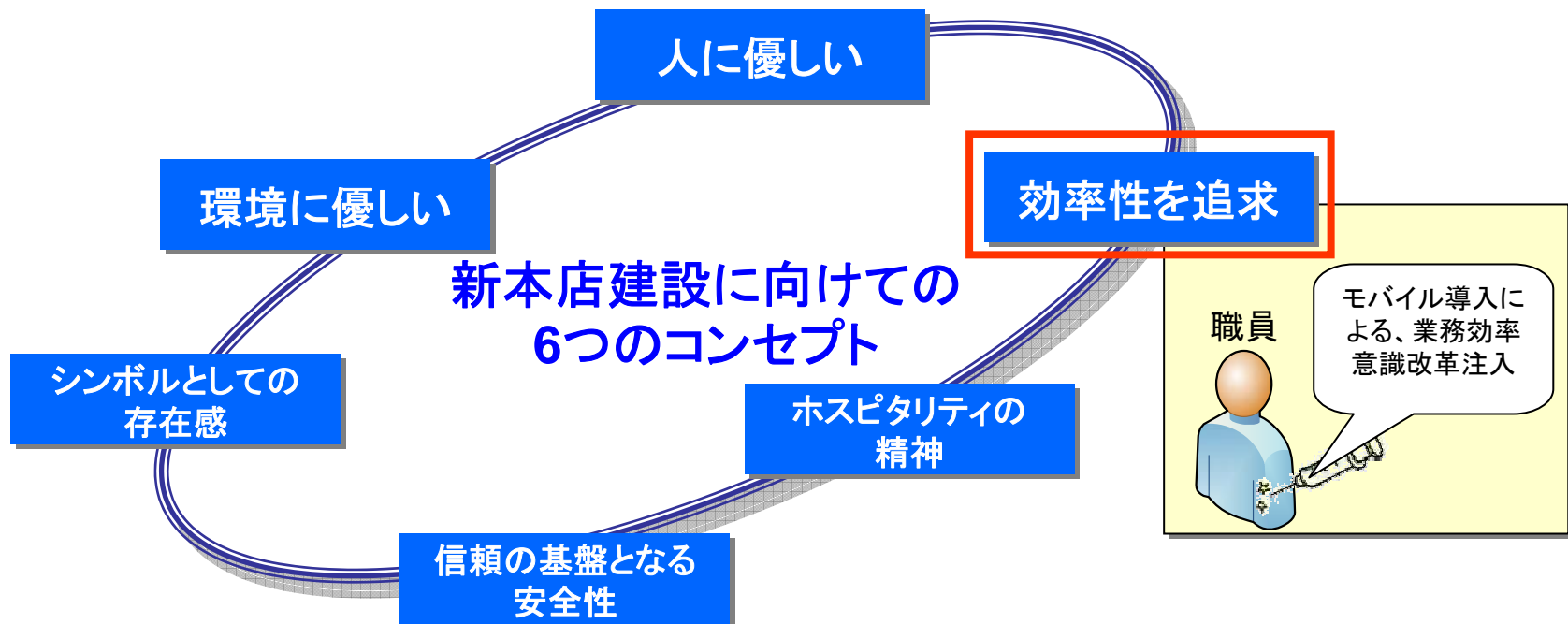


onefoneによるグループウェアと
内線システム連携



近畿労働金庫

近畿労働金庫は1998年の近畿2府4県の労働金庫統合後から新本店ビルの検討を開始した。新本店ビル建設に向けて当初から最先端のビルを実現するために「人に優しい」「環境に優しい」「効率性を追求」「シンボルとしての存在感」「ホスピタリティの精神」「信頼の基盤となる安全性」の6つの具体的コンセプトを掲げた。その中でも「効率性を追求」を実現する上でモバイルシステムの導入は、職員の業務効率に対する意識改革等の効果実現に大いに寄与したと考えています。

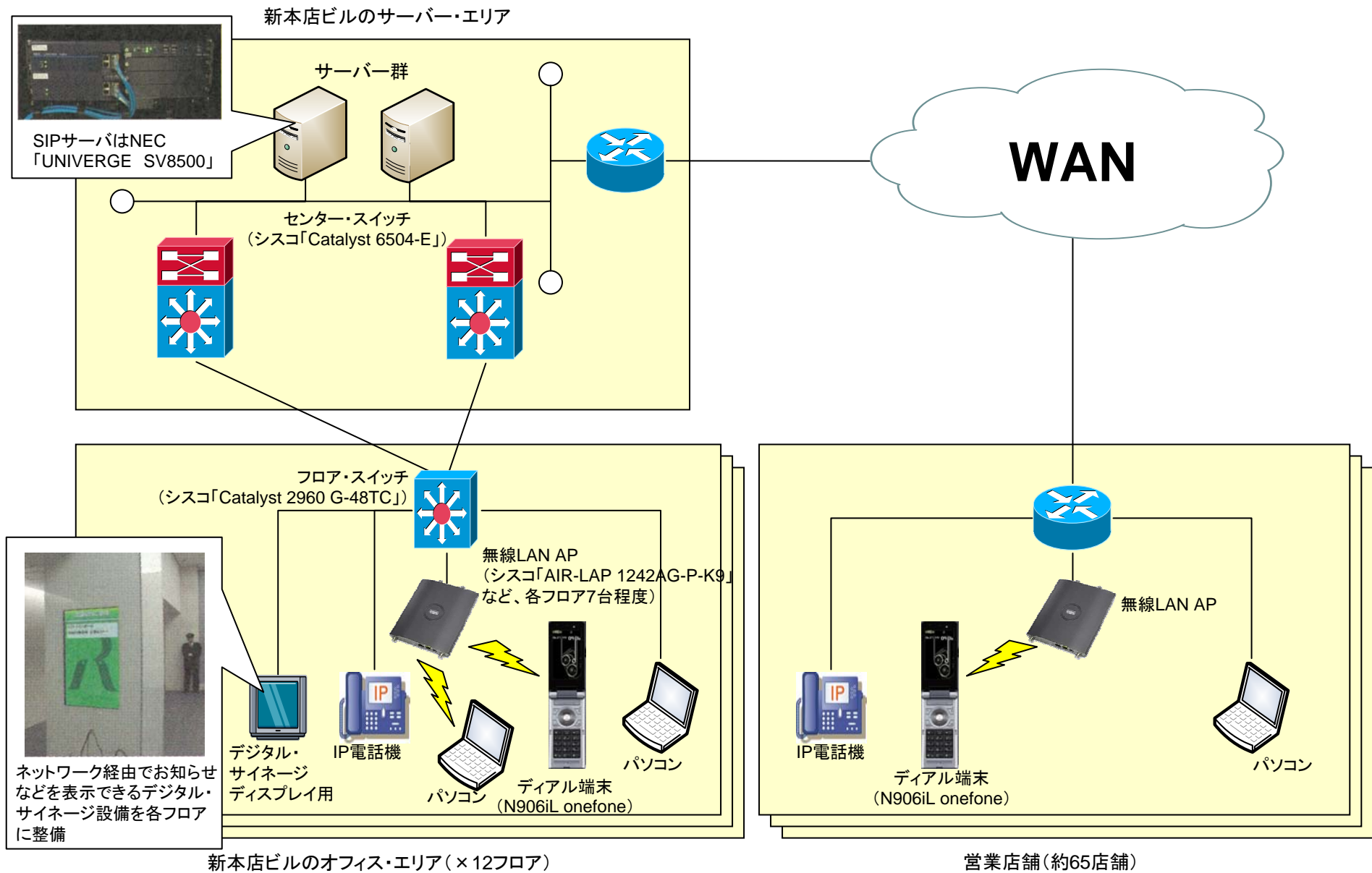


近畿ろうきん(近畿労働金庫)は、はたらく人たちに身近で便利な、生活・福祉金融機関です。ろうきんは、はたらく人たちによって運営される金融機関。その基本姿勢も、社会的な役割も、暮らしに役立つプランやサービスも、すべてがはたらく人たちの視点に立ったものです。はたらく人が主体となる「生活・福祉金融機関」として、非営利で健全経営に徹しています。

(2009年9月末現在)



名称	近畿労働金庫
所在地	大阪市西区江戸堀1丁目12番1号
設立	1998年10月1日
代表者	理事長 石橋 嘉人
常勤役員数	1,200人(男 801人、女399人)
店舗数	近畿2府4県 65店舗 (大阪府20、滋賀県7、奈良県4、京都府10、和歌山県9、兵庫県15)
事業内容	労働金庫法に基づく、預金、融資、為替、国債・投信窓販など日本国内における金融業務全般
出資金	159億95百万円
団体会員数	7,978会員
間接構成員数	149万9千人
預金残高	1兆8,537億35百万円
融資残高	1兆2,342億24百万円
自己資本比率	11.91%
リスク管理 債権比率	1.45%
格付	A(格付機関(株)R&I、2010年1月8日公表)
HP	http://www.rokin.or.jp





グループウェアと連動したプレゼンス機能で、会議中・在籍中という相手の状況がわかるのと同時に、「onefone」が接続しているアクセスポイントからどのフロアにいるかもリアルタイムでわかる。さらに、**電話帳はパソコンの画面に表示され、相手の状況と居場所を確認してクリックすると、「onefone」からの自動発信も可能です。**

<ユーザVoice>

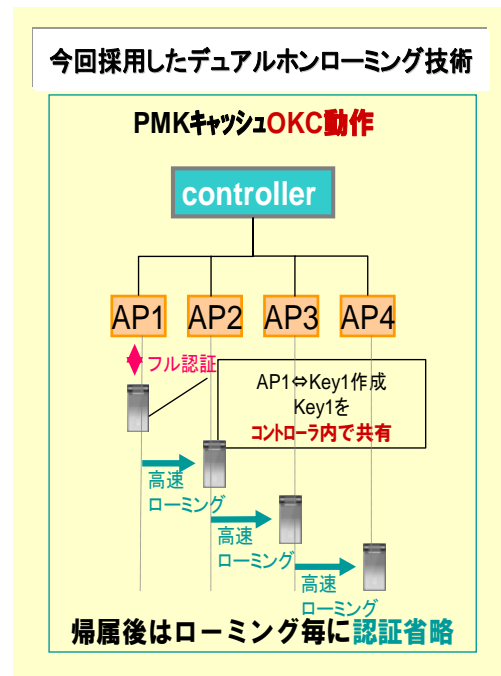
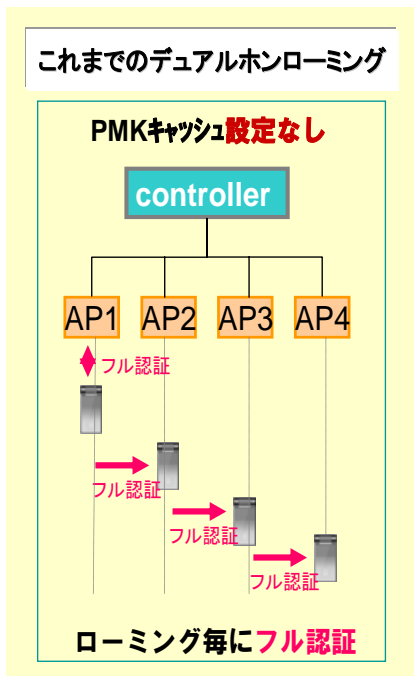
「無線LAN」で通信できる『onefone』は通信速度が速いので、検索する際にもほとんどストレスを感じません。

在席中ならパソコンからそのまま発信する事も多いです。」

※パソコン画面で発信先をクリックすると、onefoneから自動発信する仕組みになってます。

「PMKキャッシュOKC方式」に対応

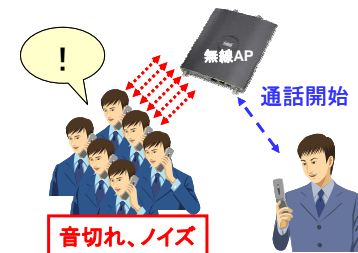
「TSPEC CAC」を採用



セキュリティを維持しながらローミング毎の認証省略が可能。
→ローミング時間の短縮を実現(高速ローミング)※ローミング時間:約50msを実現

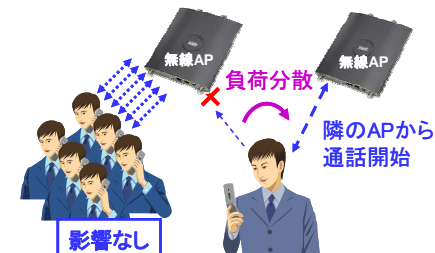
ローミング時の音声パケットのロスを減少させ、
音声品質の担保が実現できる。(デュアルホンでは世界初)

■TSPEC CACを利用しないと...



1人が新たに通話を開始したことで、アクセスポイントの帯域が溢れてしまうと、通話中の全ての音質が劣化してしまう。

■TSPEC CACを利用すると!



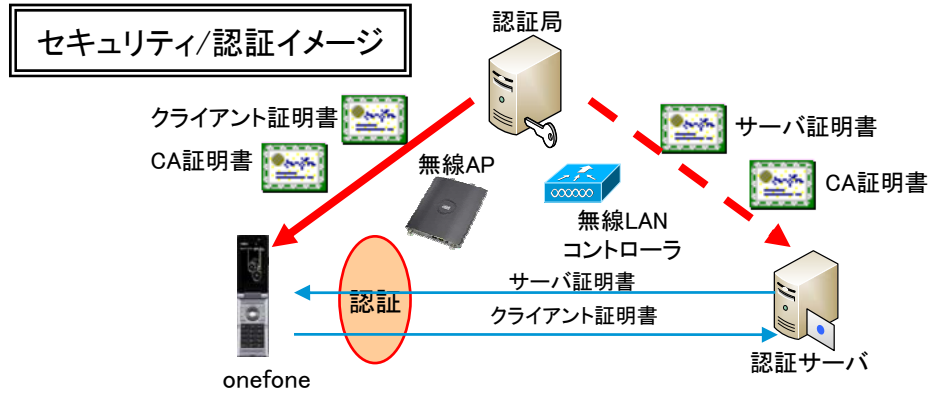
アクセスポイントに帯域の空きがない場合には、負荷分散によって、隣接するアクセスポイントから通話を行なうため、既存の通話に影響を与えない。

特定APへのアクセス集中を防ぎ、音声品質の安定化が実現できる。(デュアルホンでは世界初)

onefoneのセキュリティについて

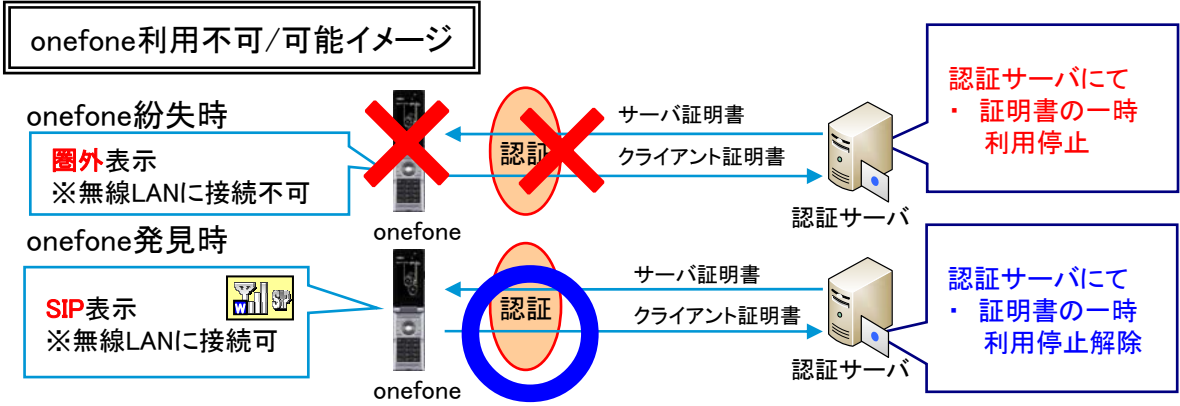
技術面でのセキュリティ/認証

セキュリティ方式:WPA2
 認証方式:EAP-TLS
 クライアント側に証明書をインストールし
 セキュリティを強化。ユーザ側でID/パスワード
 の入力がない分ユーザ側の負担を軽減。



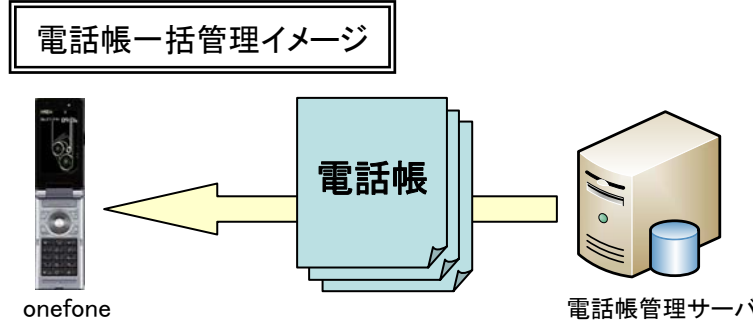
運用面でのセキュリティ

万が一onefoneを紛失した際も、
 認証サーバ側での迅速な利用制御が
 可能です。
 認証局で証明書の削除/再発行を
 行う必要がありません。



個人情報に関するセキュリティ

電話帳をDBサーバ(電話帳管理サーバ)にて一括管理
 することにより、onefone紛失時の個人情報漏洩から
 防いでおります。



モバイルシステム導入に伴う、2つの大きな指導方針



～その壱～

業務改善・効率化と利便性向上

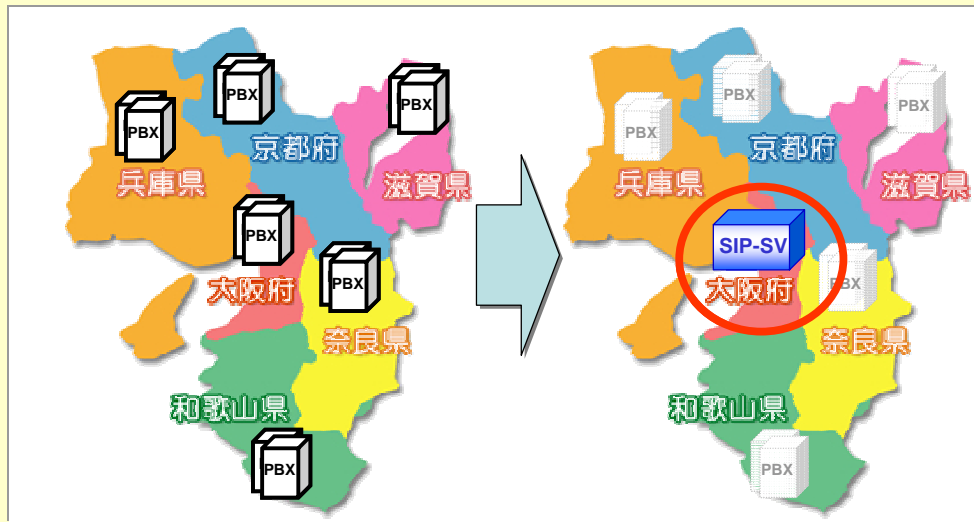
- (一) 電話帳を一元管理することにより、情報管理の堅確化・セキュリティ強化
- (二) 内線通話は直接相手に架電することで取次業務を不要とする
- (三) プレゼンス機能を使った適切なコミュニケーションの確立

～その弐～

通信コスト削減

- (一) 内線通話料(FAX含む)の削減
- (二) 老朽化した営業店のPBXリプレイス不要
- (三) 固定電話機を削除

システム導入に関する効果について



◆大幅なコスト削減の実現

音声システムを従来のPBXタイプから一極集中管理が可能であるSIPサーバに切替える事により、全拠点のオールIP化に伴うPBXリプレイスにかかるコストの大幅削減が実現した。

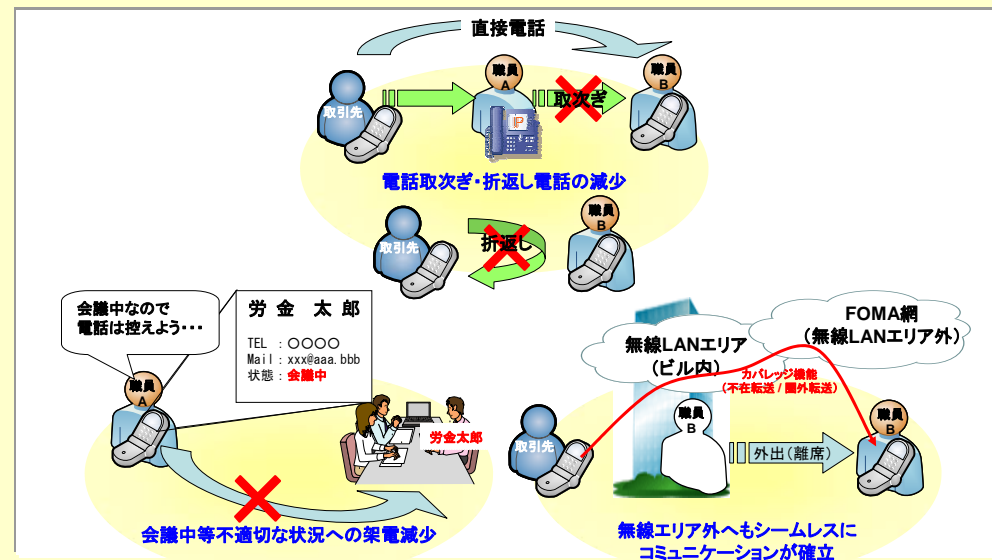
PBXリプレイス不要に伴うコスト削減
(将来の費用発生抑制含む)

約¥100,000,000円

150万円(1拠点費用) × 65店舗 = 9,750万円
9,750万円 + 職員の人件費(深夜工事立会等) = 1億円

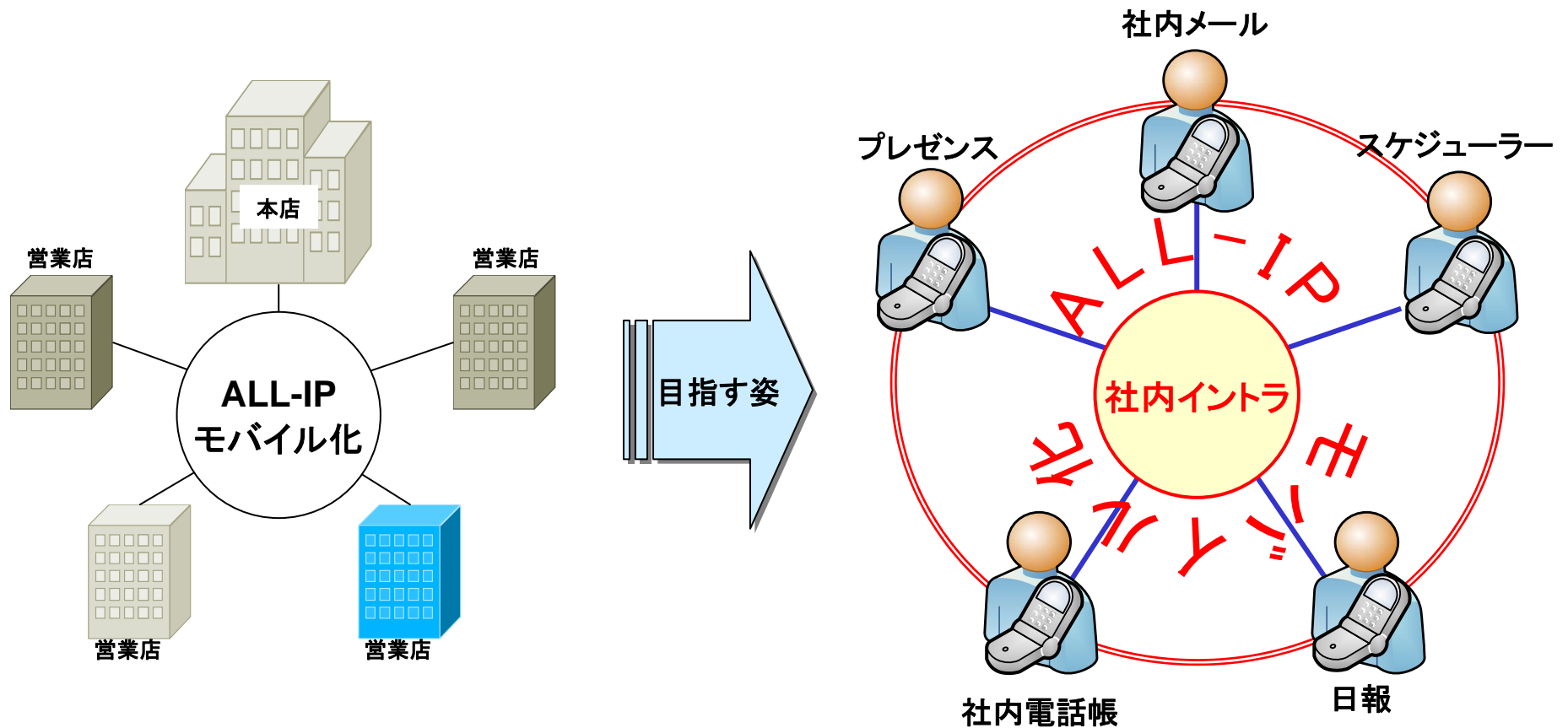
◆業務効率向上の実現

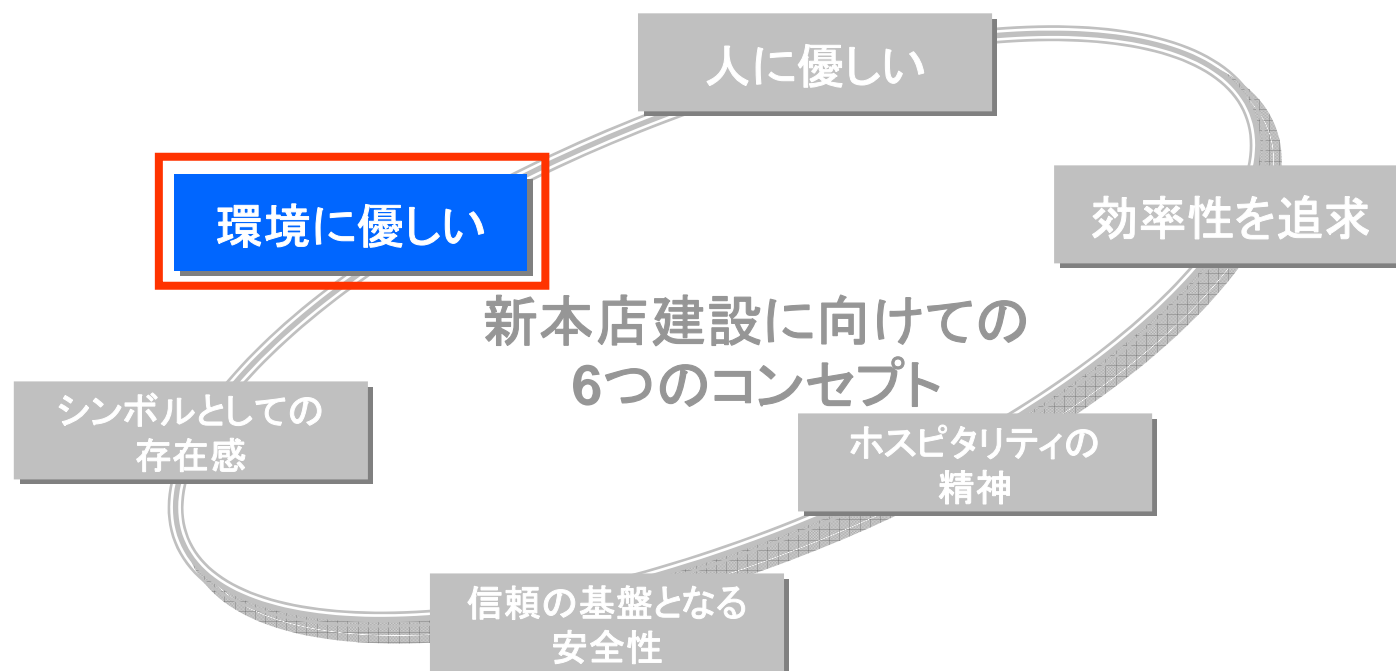
- ・電話取次ぎ・折返し電話の減少
- ・会議中等、不適切な状況への架電減少
- ・無線エリア外へもシームレスにコミュニケーションが確立することによる呼損率の減少



今後の展望

現時点で全拠点間の“ALL-IP化”は完了した。
 今後はこのインフラをフル活用し、外出先からイントラネットにアクセス、グループウェアの活用やメールチェックが出来るようなシステムの発展を検討し、更なる業務効率の向上、並びにコスト削減に努めていきたい。





新本店ビルは今後のオフィスビルのあり方としてデザインだけではなく、「地球温暖化対策」にも配慮したビルです。

【受賞一覧】

- ・CASBEE大阪 OF THE YEAR 2008(2009年3月)
- ・関西照明技術普及会賞(2009年6月)
- ・日経ニューオフィス賞(2009年9月)
- ・第3回大阪サステナブル建築賞「知事賞」(2010年2月)

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます

儲けない金融機関
近畿ろうきん